

	月		火		水		木		金	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
総合診療	内科予約2診	[糖尿] 栗 栖	[循環器] 水 越		[肝臓] 佐 藤					[内科] 栗 栖
	内科予約3診	[糖尿] 応援医師	[呼吸器] 杉 本		[糖尿] 栗 栖	[神経内科] 廣 西				
	内科予約4診	[循環器] 松 尾		[糖尿] 栗 栖	[循環器] 山 本				[循環器] 小 林	
	内科新患5診	白 井		廣 西		杉 本		中 西		松 尾
	外科診	櫻 井		櫻 井		鈴 間 【第2週】 佐々木 【不定期】	櫻 井 【不定期】		櫻 井	
脊椎ケアセンター	第6診察室	[脳神経外科] 大 岩	[神経内科] 中 西	[脳神経外科] 大 岩	[脳神経外科] 大 岩	応援医師	[脳神経外科] 上 野 【第1週】	[脳神経外科] 大 岩		
	第7診察室	[センター長] 脊椎 川上	[センター長] 脊椎 川上	[整形外科] 中 川			[センター長] 脊椎 川上			
	第8診察室	[整形外科] 籠 谷	[整形外科] 寺 口	[整形外科] 寺 口	[整形外科] 籠 谷			[整形外科] 中 川		
眼 科	泉 谷	溝 口	石 川	雑賀 岡田 【第1週】 【第3週】 (眼科新患も含む)	二出川	子ども外来 (泉谷)		溝 口	石 川	術前外来 (泉谷・溝口・二出川)
			泉谷・溝口 【隔週交代】	二出川	黄斑外来 (石川)			泉 谷	黄斑外来 (溝口)	
小児科	戸 川	予防接種	樋 口		戸 川	予防接種	樋 口		戸 川	
リハビリテーション科	隅 谷		隅 谷		隅 谷		隅 谷		隅 谷	

2018年4月4日現在

診察受付 月曜～金曜 午前8時45分～11時30分

※外科:佐々木医師の診察は不定期となるため、事前にお問い合わせください。

※第1週の水曜日午後は、加藤医師が救急対応



あじさい



vol.24
2018.春号



初めて外来診察を受ける方へ

当院では、少しでもお待ちいただく時間を短縮するため、外来診察は原則予約制とさせていただきます。

◇医療機関からのご予約

- ①「予約申込書(様式PDF)」(ホームページに掲載)を地域医療連携室にFAX送信してください。
- ②予約時間、医師名を記載した予約票をFAXで送信します。
- ③患者さんに予約票と紹介状をお渡しください。
- ④予約当日は予約票・紹介状・診察券(受診歴のある方)・保険証を持って総合受付で受付をしてください。
地域医療連携室 受付時間(平日:月～金曜日、祝年末年始除く)
FAX0736-22-8275 9:00～17:00

◇ご本人からのご予約

- ◆紹介状をお持ちの方
地域医療連携室で予約をお取りします。
TEL: 0736-22-8250 8:45～17:30 (平日:月～金曜日、祝年末年始除く)
- ◆紹介状をお持ちでない方
予約センターで予約をお取りします。
TEL: 0736-22-4600 8:45～15:00 (平日:月～金曜日、祝年末年始除く)



【お知らせ】

- ・平成30年4月より内科に松尾好記講師と杉本武哉学内助教が着任しました。
- ・平成30年3月末で眼科の宮本武准教授、内科の上谷光作講師、徳留なほみ助教、岸本祥平学内助教が退職しました。
- ・次回の紀北分院通信「あじさい」夏号は7月です。

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 分院長 川上 守

〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺219 TEL0736-22-0066(代) FAX0736-22-2579
ホームページアドレス <http://www.wakayama-med.ac.jp/med/bun-in/index.html>

2018年4月発行



掲載内容

- ・教授就任のご挨拶
- ・脊椎ケアセンター、眼科の新体制
- ・新任ドクターの紹介
- ・脳神経外科の紹介
- ・乳腺外科の紹介
- ・外来診療担当医表
- ・初めて外来診察を受ける方へ

患者さんの権利

- 1 当院では、受診される皆様が、以下の権利を有することを確認し、尊重します。
- 2 個人として、尊重され、平等に良質な医療を受ける権利があります。
- 3 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 4 十分な情報を得た上で、自己の意志に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利があります。
- 5 他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
- 6 個人情報やプライバシーを守られる権利があります。

基本方針

- 1 患者さんに信頼され、安全で心のこもった医療を行います。
- 2 豊かな人間性と専門的な知識と技術を備えた医療人を育成します。
- 3 地域に密着し、地域のニーズに応える医療機関を目指します。
- 4 近代的で最新の知識・技術を活用した医療を行い、地域の中核的医療機関としての使命を果たします。
- 5 地域の保健・医療・介護・福祉施設や行政と連携し、地域の人々の健康作りに貢献します。

理念

私たちは地域に密着した医療が実践できる質の高い医療人を育成し、安全で安心していただける医療を提供して、地域の保健医療の発展に貢献します。

教授就任のご挨拶



内科教授／廣西 昌也
診察日／(火) (木)
専門分野／認知症・神経内科
趣味／落語

平成30年4月2日から紀北分院内科教授として着任させていただきました。社会の高齢化が言われておりますが、分院周辺の市町村でも高齢化率は四割前後に至っています。高齢化に伴ってがん、脳梗塞、心筋梗塞、認知症、フレイル(弱り)がどんどん増えていきます。健康で充実した老後のためにはいたずらに病気を怖がるのではなく、禁煙、運動などの生活習慣病の対策や健診を積極的に取り入れて頂きたいと思っております。また残念ながら病気になることも、一人で抱え込んでしまうのではなく、専門職種にどんどん相談し、できることを前向きにやっていくことで道が拓けてまいります。例えば私の専門である認知症は根本治療こそありませんが、認知症への偏見をなくし、生活していくための環境調整を行うことで穏やかな日常を取り戻すことは可能です。

私は高野口町の生まれで、地元の伊都高校の卒業です(まさか母校がなくなってビックリしました)。長く各地を転々としてきましたが、ようやく故郷に戻ってこられたという思いであります。紀北分院を訪れていただく方々はもちろん、周辺地域に住む多くの方が健やかに暮らしていけるよう、健康に関する情報発信を積極的に行ってまいります。「紀北病院」として親しまれてきた当院と地域との絆をより深め、気軽に来て頂ける病院として地域に貢献していきますので是非今後とも紀北分院をよろしくお願ひ申し上げます。

脊椎ケアセンター、眼科の新体制

【脊椎ケアセンター】

平成30年4月より脊椎ケアセンターは2人医師が増えます。5人全員が整形外科学会専門医であり、充実した診療を行えるとともに手術においてもより多くの手術を行えるようになります。今まで外来紹介いただいた後や手術を決めていただいた後に長期間お待ちいただいていた患者さんにも、今後はより早く当院での診療や手術を受けていただけるよう精進していきたいと思っております。

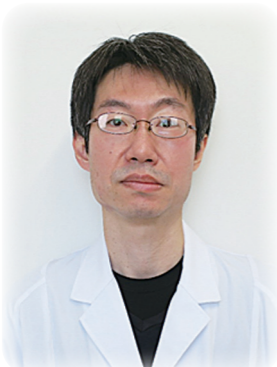
【眼科】

4月から眼科は1人医師が増え、全員で4人となりました。4人全員が日本眼科学会に認定された眼科専門医です。医師が増えたことで、外来は2人での診察ができるようになり、多くの方に受診していただけるようになりました。また、白内障の手術日も新たに月・火・水曜日の週3日とさせていただき、手術を予約していただくから手術を受けていただくまでの日数を、より短くできるように努めて参ります。

新任ドクターの紹介



整形外科講師
中川 幸洋



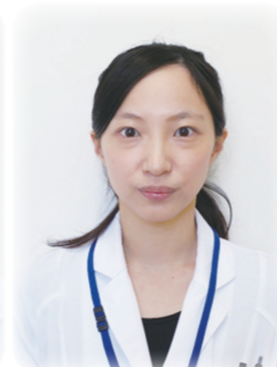
眼科講師
石川 伸之



内科助教
中西 一郎



整形外科助教
米良 好正



眼科学内助教
二出川 裕香

これからよろしくお願ひします。

脳神経外科の紹介



准教授／大岩美嗣
専門分野／脳神経外科学
手術全般(特に脳
卒中の外科手術)

紀北分院脳神経外科は昭和63年9月に開設され、今年で30年を迎えます。近年、脳神経外科は血管内治療(カテーテルによる治療)の技術が進歩し、特に脳卒中の分野で治療成績が格段に向上しました。またその一方で従来からの手術技術も進歩し、高齢の方やリスクの高い患者さんでも脳への負担が軽くスムーズな回復につながる手術ができるようになってきました。紀北分院脳神経外科でも高度な手術レベルが維持できるようチーム医療体制を整えています。ここ伊都橋本地域は農業などで身体を使う人が多く、生活習慣病のない元気な高齢者が多い反面、老老介護などで生活に限界に近い方もたくさんいらっしゃいます。和歌山県は全国平均の数年前を行く速さで高齢化が進んでいると言われておりますが、この地域はさらにその数年前を行く高齢化社会となっております。私は5年前の着任以来、このような地域の特性に合わせて、今までの脳神経外科疾患だけでなく認知症の治療と動脈硬化検診に積極的に取り組んできました。

認知症やパーキンソン病などの診断を受けた患者さんの中に手術で治せる患者さんが数パーセントの割合で見つかっています。日ごろ元気な方の中にも頸動脈の狭窄が見つかり、脳梗塞予防のために手術が必要な場合があります。紀北分院は期せずして日本の医療最前線となっていることを痛感します。これからも地域に密着した診療を続けて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

乳腺外科の紹介



助 教／櫻井照久
専門分野／乳腺外科

乳がんは年々増加の傾向を辿っています。2016年のがん統計予測では、年間9万人の女性が乳がん罹患され、これは女性のがんのトップであり、女性2位の大腸がん(6万人)と大きな差となっております。一方、乳がん治療は進歩しており、乳がんの性格毎に有効な治療法も確立され、さらには新規の薬剤の開発も相まって、年々乳がんの5年生存率は伸びており、現在は約90%となっております。従って、早期に発見されれば乳がんはほとんど治るがんと考えてもよい時代になってきました。また、手術についても、早期で発見された場合は、多くの方が自分の乳房を残す温存療法で治療可能で、脇のリンパ節も取らずに見張りのリンパ節のみ摘出する方法(センチネルリンパ節生検)でリンパ節を温存できるので手が腫れる(リンパ浮腫)、運動に支障を来すといった手術後の心配も少なくなっています。また、早期がんではあっても乳房内の拡がりのため温存術が困難な場合でも、現在は乳がんの手術と同時に乳房を作る手術(再建術)も保険適応となっておりますので、乳房を失うことを回避する選択も可能です。

当院では、手術中にリンパ節転移の有無を判断するセンチネルリンパ節生検を最も正確に診断できるOSNA法を採用しており(和歌山県で3施設)、また、学会より乳がん手術と同時に再建の認可(エキスパンダー、インプラント)を受けており、和歌山県立医科大学附属病院の形成外科学教室と連携して手術する施設となっております。

近隣の市町村の一次検診(かつらぎ町、紀の川市、橋本市、岩出市、五條市)も承り、また、抗加齢医学に基づく乳がん予防の指導も講演会を通じて行っています。私自身も全国各地の乳がん専門医からなるJONIEグループに所属しており、臨床試験や市民公開講座主催、海外学会での発表を通じて、最新の乳がん診療の情報を常にアップデートするようしております。

乳腺で気になることがあれば当科にご相談いただければ幸いです。